

中小企業動向調査（2021年9月末日基準）

この調査は、富山県内企業280社からのアンケート結果をまとめたものです。

企業の調査資料として、令和3年7月～9月の実績、令和3年10月～12月の見込み、令和4年1月～3月の先行き見通しを集約した概要です。なお、季節調整は行っていません。

回答企業数（調査企業数）

280（662）

調査時期：2021年10月上旬

方法：インターネットによる当行取引先へのアンケート実施

日本銀行富山事務所が11月に公表した「富山県金融経済クォーターリー2021年秋」によると、「富山県の景気は、持ち直している。～（抜粋）当地製造業の生産は、持ち直している。業種別にみると、電気機械、汎用・生産用・業務用機械は増加している。医薬品を中心とする化学は、横ばい圏内の動きとなっている。金属製品は、低水準で横ばい圏内の動きとなっている。」とあります。富山県内においては、昨年4-6月をボトムとして製造業・非製造業とも回復傾向にあります。足元では原材料高による仕入れへの影響は利益への影響など悪材料も出てきています。飲食・宿泊サービス業などはまだ回復途中であり、かつ新型コロナウイルス変異株の出現等により全産業においてもまだまだ状況は楽観視できるものではありません。富山県内企業の業況がどうなっていくのか今後も注視していく必要があります。

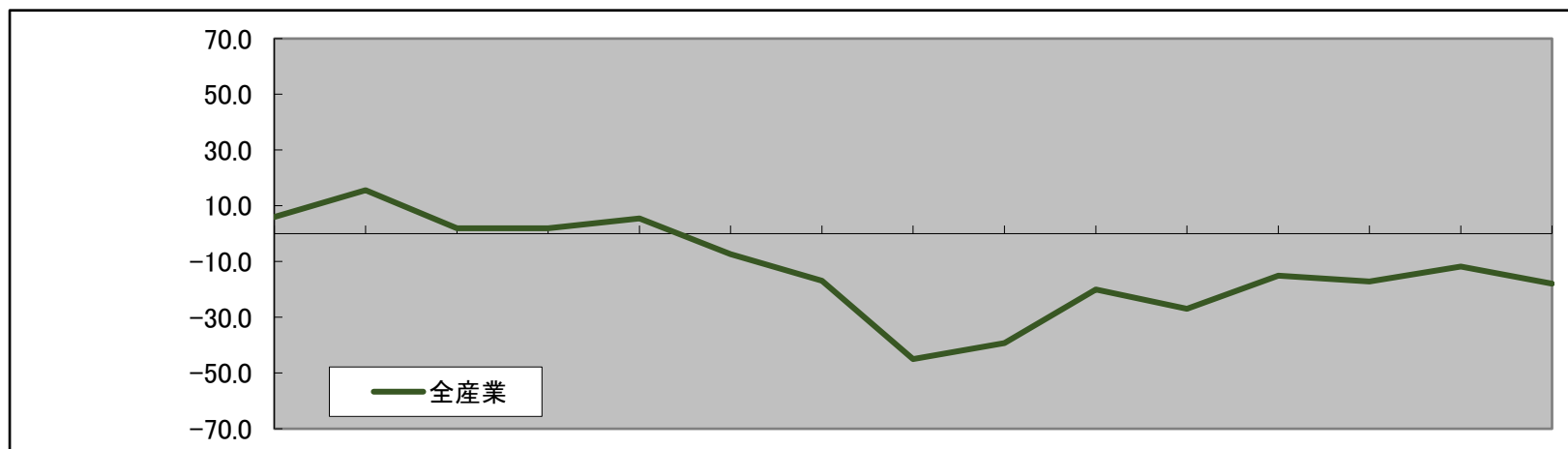
I. 企業業況

企業業況の推移……（全産業）

(%)

見込 予測

種別	期別	2018		2019		2020		2021				2022				
		7～	10～	1～	4～	7～	10～	1～	4～	7～	10～	1～	3月			
		9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月	3月			
良	い	21.6	23.8	19.3	21.3	22.7	14.8	15.0	9.1	11.8	16.8	14.1	17.3	15.4	15.7	10.7
普	通	62.8	68.0	63.2	59.2	59.9	63.1	53.1	36.8	37.1	46.4	44.8	50.4	52.1	56.8	60.7
悪	い	15.6	8.2	17.5	19.4	17.4	22.1	31.9	54.1	51.1	36.8	41.1	32.4	32.5	27.5	28.6
D	. I .	6.0	15.6	1.9	1.9	5.4	-7.4	-16.9	-45.0	-39.2	-20.0	-27.0	-15.1	-17.1	-11.8	-17.9



- (1) 富山県内の中小企業の業況を全産業で見みると、業況判断指数D.I.「良い-悪い」は、今回調査の7-9月期ではマイナス17.1となり、前回比で2.0ポイント悪化しました。先行きについては、10-12月は5.3ポイント改善予想となりますが、1-3月に向けて再度悪化傾向となります。

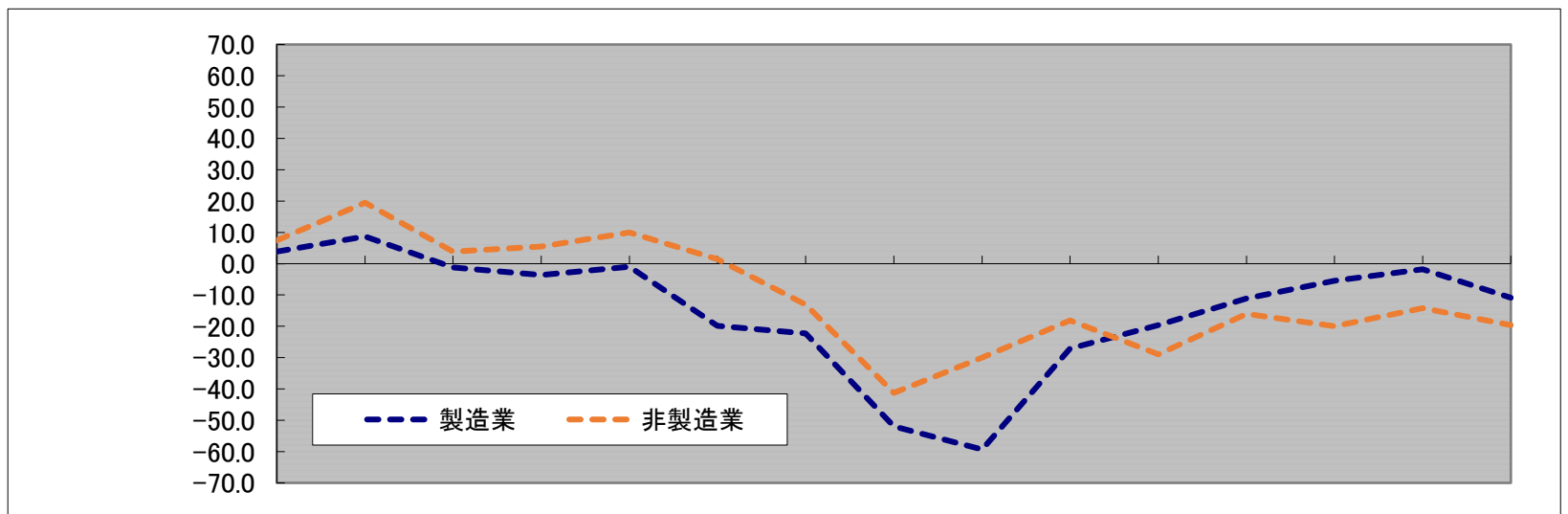
I. 企業業況（続き）

企業業況の推移……（うち製造業のみ）

		(%)														見込	予測
		2018		2019				2020				2021				2022	
		7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	
良	い	20.8	19.6	16.7	21.4	22.5	11.9	13.9	7.8	8.5	20.3	17.6	20.4	23.6	25.5	10.9	
普	通	62.3	69.6	65.5	53.6	53.9	56.4	50.0	32.5	23.7	32.2	45.1	48.1	47.3	47.3	67.3	
悪	い	16.9	10.9	17.9	25.0	23.5	31.7	36.1	59.7	67.8	47.5	37.3	31.5	29.1	27.3	21.8	
D .	I .	3.9	8.7	-1.2	-3.6	-1.0	-19.8	-22.2	-51.9	-59.3	-27.1	-19.6	-11.1	-5.5	-1.8	-10.9	

企業業況の推移……（うち非製造業のみ）

		(%)														見込	予測
		2018		2019				2020				2021				2022	
		7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	
良	い	22.1	26.2	21.1	21.3	22.9	16.8	15.8	9.8	13.4	15.8	13.2	16.5	13.3	13.3	10.7	
普	通	63.1	67.1	61.7	63.0	64.3	67.8	55.5	39.2	43.3	50.2	44.7	50.9	53.3	59.1	59.1	
悪	い	14.8	6.7	17.2	15.7	12.9	15.4	28.8	51.0	43.3	33.9	42.1	32.6	33.3	27.6	30.2	
D .	I .	7.4	19.5	3.9	5.5	10.0	1.4	-13.0	-41.3	-29.9	-18.1	-28.9	-16.1	-20.0	-14.2	-19.6	



- (2) 製造業と非製造業に分けてみると、製造業は業況判断指数D. I. マイナス5.5と前回比5.6ポイントの改善、非製造業ではマイナス20.0と前回比3.9ポイント悪化しました。飲食サービス業についてはマイナス85.7ポイントとなるなど依然として厳しい状況が続いています。

II. 売上高状況

売上高状況の推移……（全産業）

(%)

見込 予測

	2018		2019				2020				2021				2022
	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	
増加	21.7	25.3	21.1	25.6	25.8	18.6	15.3	10.0	14.0	20.0	17.7	24.6	20.0	19.3	11.8
横ばい	54.0	61.5	56.3	52.1	56.7	52.5	49.4	29.5	29.0	36.8	38.7	46.0	47.5	55.7	58.2
減少	24.2	13.2	22.5	22.3	17.5	28.9	35.3	60.5	57.0	43.2	43.5	29.4	32.5	25.0	30.0
D . I .	-2.5	12.1	-1.4	3.3	8.3	-10.3	-20.0	-50.5	-43.0	-23.2	-25.8	-4.8	-12.5	-5.7	-18.2

売上高状況の推移……（うち製造業のみ）

(%)

見込 予測

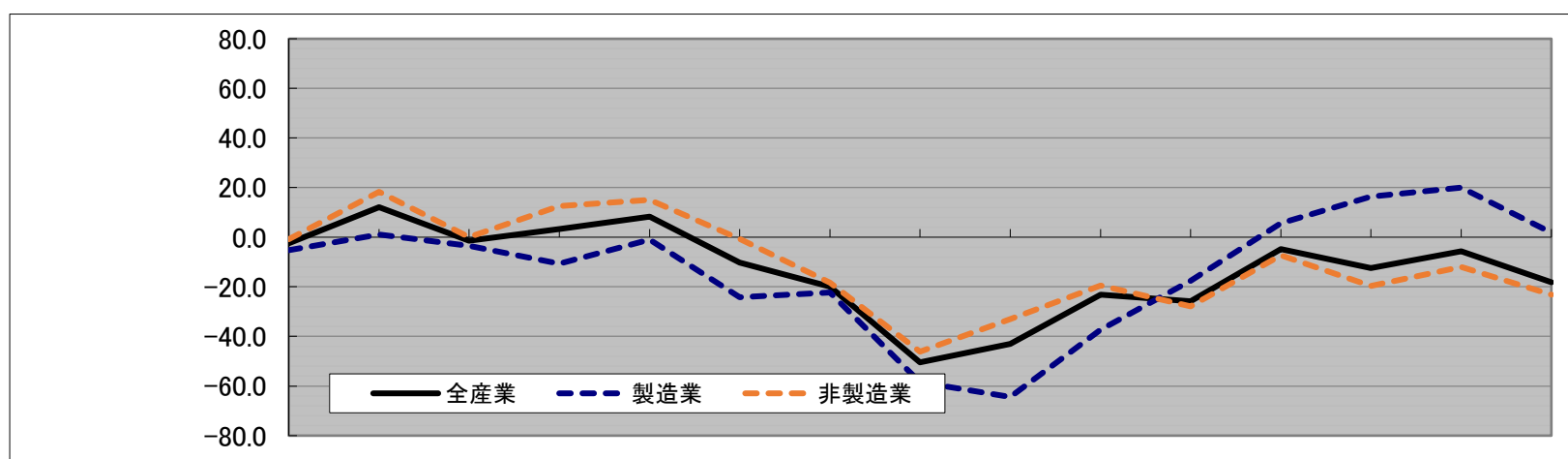
	2018		2019				2020				2021				2022
	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	
増加	19.5	18.3	17.6	21.4	22.8	16.2	16.7	7.8	5.1	15.3	23.5	29.6	30.9	34.5	16.4
横ばい	55.8	64.5	61.2	46.4	53.5	43.4	44.4	26.0	25.4	32.2	35.3	46.3	54.5	50.9	69.1
減少	24.7	17.2	21.2	32.1	23.8	40.4	38.9	66.2	69.5	52.5	41.2	24.1	14.5	14.5	14.5
D . I .	-5.2	1.1	-3.5	-10.7	-1.0	-24.2	-22.2	-58.4	-64.4	-37.3	-17.6	5.6	16.4	20.0	1.8

売上高状況の推移……（うち非製造業のみ）

(%)

見込 予測

	2018		2019				2020				2021				2022
	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	
増加	23.1	29.3	23.4	28.3	28.1	20.3	14.3	11.2	18.1	21.3	16.2	23.4	17.3	15.6	10.7
横ばい	52.9	59.8	53.1	55.9	59.0	58.7	53.1	31.5	30.7	38.0	39.6	45.9	45.8	56.9	55.6
減少	24.0	11.0	23.4	15.7	12.9	21.0	32.7	57.3	51.2	40.7	44.2	30.7	36.9	27.6	33.8
D . I .	-0.8	18.3	0.0	12.6	15.1	-0.7	-18.4	-46.2	-33.1	-19.5	-27.9	-7.3	-19.6	-12.0	-23.1



- (1) 売上高D.I. は全産業においてマイナス12.5となり、前回比7.7ポイント悪化しました。先行きについては、1-3月にマイナス18.2となっており、さらに悪化すると予想しています。
- (2) 製造業と非製造業に分けてみると、製造業では16.4と前回比10.8ポイントの改善、非製造業ではマイナス19.6と前回比12.3ポイントの悪化となっています。製造業では10-12月にかけて20.0とさらに改善見込ですが、1-3月には1.8と悪化予想です。

Ⅲ. 製品在庫水準

製品在庫水準の推移…… (全産業)

(%)

見込 予測

	2018		2019				2020				2021				2022
	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	
不足	4.1	3.5	2.6	2.6	3.5	2.8	3.1	9.1	7.5	7.9	8.5	10.3	12.1	13.6	13.6
適正	88.8	91.3	89.5	89.7	90.7	88.1	88.1	80.9	81.2	86.1	84.3	83.5	82.1	82.5	81.8
過剰	7.1	5.2	7.9	7.7	5.7	9.2	8.8	10.0	11.3	6.1	7.3	6.3	5.7	3.9	4.6
D . I .	-2.9	-1.7	-5.3	-5.1	-2.2	-6.4	-5.8	-0.9	-3.8	1.8	1.2	4.0	6.4	9.6	8.9

製品在庫水準の推移…… (うち製造業のみ)

(%)

見込 予測

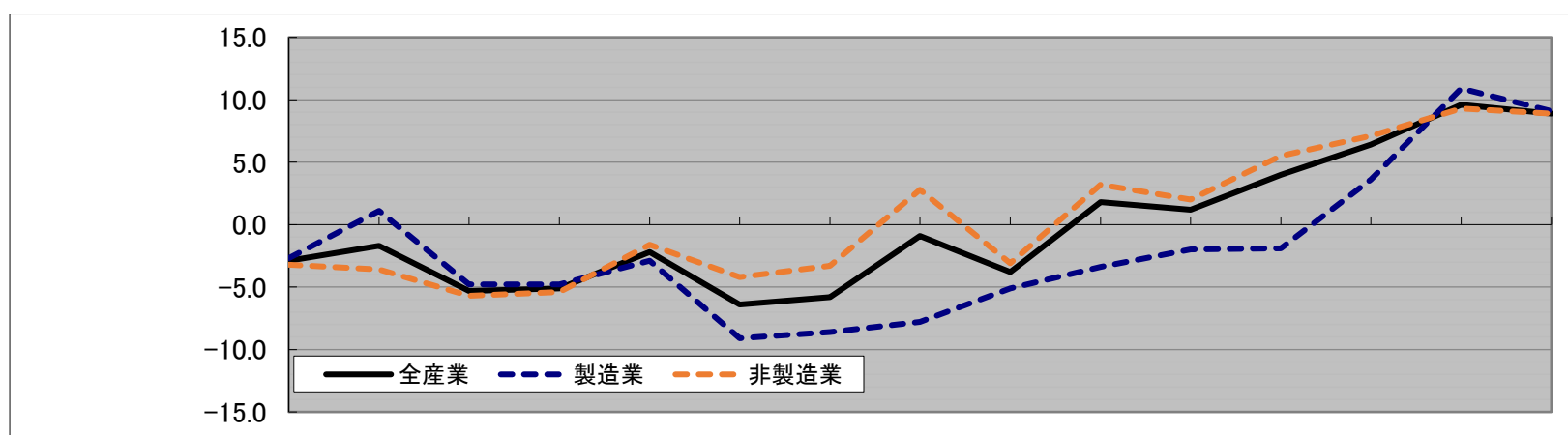
	2018		2019				2020				2021				2022
	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	
不足	5.3	5.4	4.8	3.6	4.9	3.0	1.9	5.2	5.1	5.1	7.8	7.4	12.7	16.4	16.4
適正	86.7	90.2	85.7	88.1	87.3	84.8	87.6	81.8	84.7	86.4	82.4	83.3	78.2	78.2	76.4
過剰	8.0	4.3	9.5	8.3	7.8	12.1	10.5	13.0	10.2	8.5	9.8	9.3	9.1	5.5	7.3
D . I .	-2.7	1.1	-4.8	-4.8	-2.9	-9.1	-8.6	-7.8	-5.1	-3.4	-2.0	-1.9	3.6	10.9	9.1

製品在庫水準の推移…… (うち非製造業のみ)

(%)

見込 予測

	2018		2019				2020				2021				2022
	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	
不足	3.2	2.2	0.9	1.8	2.4	2.5	4.1	11.2	8.7	8.6	8.6	11.0	12.0	12.9	12.9
適正	90.5	92.0	92.5	91.0	93.6	90.8	88.4	80.4	79.5	86.0	84.8	83.5	83.1	83.6	83.1
過剰	6.3	5.8	6.6	7.2	4.0	6.7	7.4	8.4	11.8	5.4	6.6	5.5	4.9	3.6	4.0
D . I .	-3.2	-3.6	-5.7	-5.4	-1.6	-4.2	-3.3	2.8	-3.1	3.2	2.0	5.5	7.1	9.3	8.9



- (1) 7-9月の製品在庫水準D. I. はプラス6.4と若干在庫不足が上回っています。製造業においては10-12月の在庫D. I. は10.9、非製造業においては9.3と在庫不足状況が拡大する予想です。

IV. 資金繰状況

資金繰状況の推移…… (全産業)

(%)

見込 予測

	2018		2019				2020				2021				2022
	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	
ゆるい	13.1	16.0	12.2	13.3	10.7	11.5	8.3	14.1	15.1	13.2	13.3	14.0	16.8	15.0	14.3
普通	78.8	75.5	76.5	78.2	81.8	76.6	81.5	66.4	64.5	70.4	67.3	68.8	66.8	68.6	67.1
厳しい	8.1	8.6	11.3	8.5	7.4	11.9	10.2	19.5	20.4	16.4	19.4	17.3	16.4	16.4	18.6
D . I .	5.1	7.4	0.9	4.7	3.3	-0.4	-2.0	-5.5	-5.4	-3.2	-6.0	-3.3	0.4	-1.4	-4.3

資金繰状況の推移…… (うち製造業のみ)

(%)

見込 予測

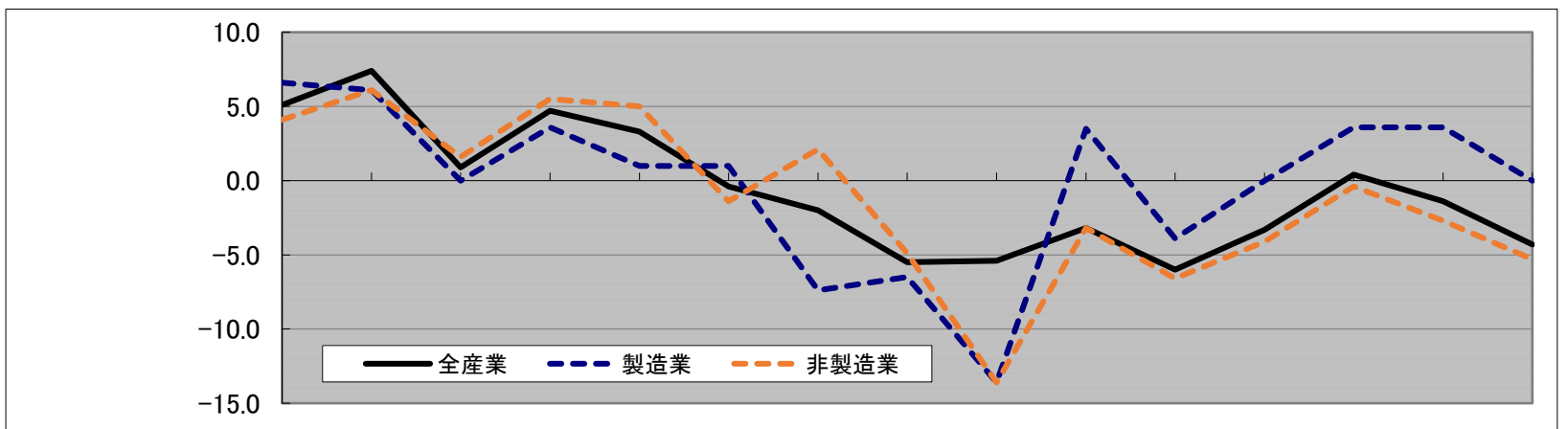
	2018		2019				2020				2021				2022
	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	
ゆるい	13.2	18.3	10.6	13.1	11.8	13.9	7.4	15.6	6.8	15.3	11.8	14.8	18.2	16.4	18.2
普通	80.3	73.1	78.8	77.4	77.5	73.3	77.8	62.3	72.9	71.9	72.5	70.4	67.3	70.9	63.6
厳しい	6.6	8.5	10.6	9.5	10.8	12.9	14.8	22.1	20.3	12.3	15.7	14.8	14.5	12.7	18.2
D . I .	6.6	6.1	0.0	3.6	1.0	1.0	-7.4	-6.5	-13.6	3.5	-3.9	0.0	3.6	3.6	0.0

資金繰状況の推移…… (うち非製造業のみ)

(%)

見込 予測

	2018		2019				2020				2021				2022
	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	
ゆるい	13.1	14.6	13.3	13.4	10.0	9.8	8.9	13.3	18.9	12.7	13.7	13.8	16.4	14.7	13.3
普通	77.9	76.8	75.0	78.7	85.0	79.0	84.2	68.5	60.6	71.5	66.0	68.3	66.7	68.0	68.0
厳しい	9.0	8.5	11.7	7.9	5.0	11.2	6.8	18.2	20.5	15.8	20.3	17.9	16.9	17.3	18.7
D . I .	4.1	6.1	1.6	5.5	5.0	-1.4	2.1	-4.9	-13.6	-3.2	-6.6	-4.1	-0.4	-2.7	-5.3



- (1) 7-9月の資金繰状況は全産業で改善しています。製造業では資金繰状況D. I. は3.6となり、非製造業でもマイナス0.4まで改善しました。10-12月、1-3月については悪化を予想しており、厳しい状況が続きます。

V. 利益状況

利益状況の推移……（全産業）

(%)

見込 予測

	2018		2019				2020				2021				2022
	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月
黒字	53.3	57.5	46.9	50.5	48.3	45.9	43.1	33.6	33.9	44.6	31.5	34.2	38.6	35.7	30.4
収支トントン	33.7	35.4	41.2	32.9	37.2	40.1	32.8	28.6	31.7	27.9	33.1	34.9	31.4	40.7	46.1
償却後赤字	13.1	7.1	11.8	16.7	14.5	14.0	24.1	37.7	34.4	27.5	35.5	30.9	30.0	23.6	23.6
D . I .	40.2	50.4	35.1	33.8	33.9	31.8	19.0	-4.1	-0.5	17.1	-4.0	3.3	8.6	12.1	6.8

利益状況の推移……（うち製造業のみ）

(%)

見込 予測

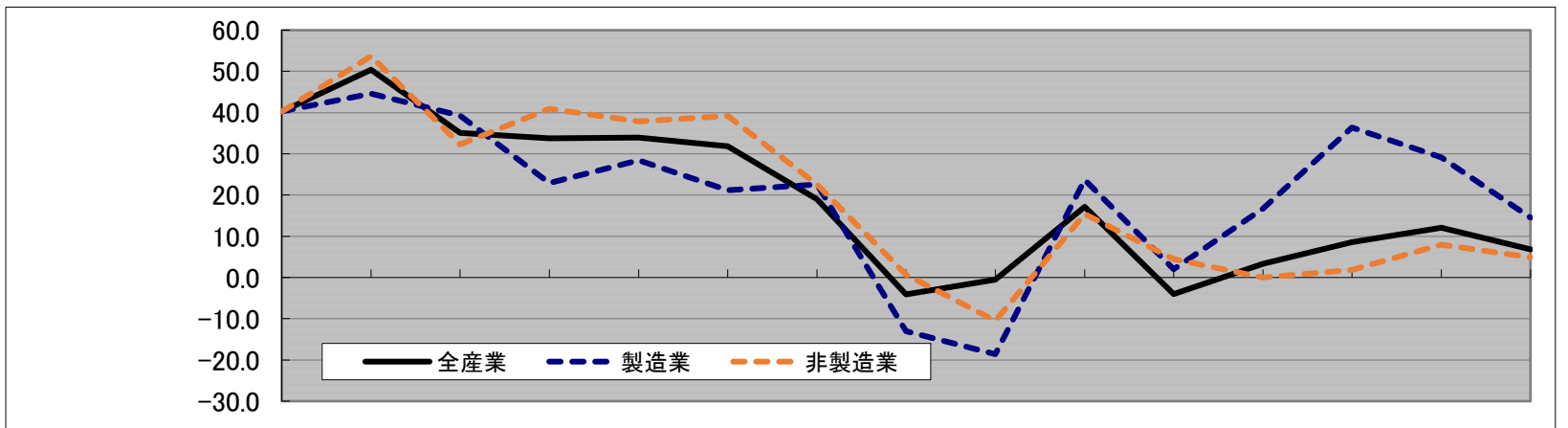
	2018		2019				2020				2021				2022
	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月
黒字	57.1	54.3	50.0	44.6	46.1	38.4	44.9	32.5	25.4	54.2	39.2	42.6	54.5	45.5	34.5
収支トントン	26.0	35.9	39.3	33.7	36.3	44.4	24.3	22.1	30.5	15.3	23.5	31.5	27.3	38.2	45.5
償却後赤字	16.9	9.8	10.7	21.7	17.6	17.2	19.2	45.5	44.1	27.5	37.3	25.9	18.2	16.4	20.0
D . I .	40.3	44.6	39.3	22.9	28.4	21.2	22.6	-13.0	-18.6	23.7	2.0	16.7	36.4	29.1	14.5

利益状況の推移……（うち非製造業のみ）

(%)

見込 予測

	2018		2019				2020				2021				2022
	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月
黒字	50.8	59.3	44.9	54.3	50.0	51.0	41.8	34.3	23.4	42.2	33.0	32.1	34.7	33.3	29.3
収支トントン	38.5	35.2	42.5	32.3	37.9	37.1	39.0	32.2	42.7	31.2	38.5	35.8	32.4	41.3	46.2
償却後赤字	10.7	5.6	12.6	13.4	12.1	11.9	19.2	33.6	33.9	26.7	28.5	32.1	32.9	25.3	24.4
D . I .	40.2	53.7	32.3	40.9	37.9	39.2	22.6	0.7	-10.5	15.4	4.5	0.0	1.8	8.0	4.9

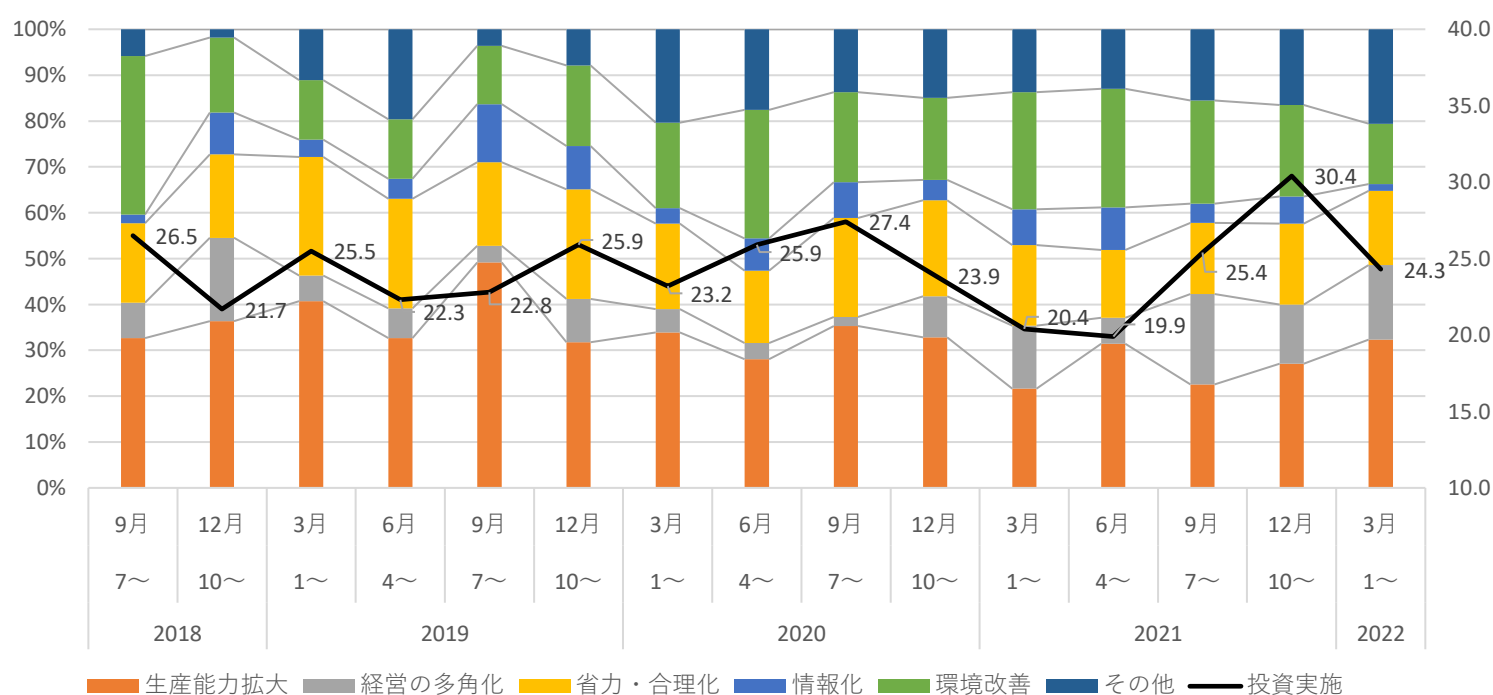


- (1) 全産業の7-9月の利益状況D. Iは8.6と4-6月比5.3ポイント改善しました。製造業は7-9月は36.4と4-6月比19.7ポイント改善、非製造業は7-9月は1.8と4-6月比1.8ポイント改善しています。

VI. 設備投資動向

	見込														予測
	2018		2019				2020				2021				2022
	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月
投資実施	26.5	21.7	25.5	22.3	22.8	25.9	23.2	25.9	27.4	23.9	20.4	19.9	25.4	30.4	24.3
投資せず	73.5	78.3	74.5	77.7	77.2	74.1	76.8	74.1	72.6	76.1	79.4	80.1	74.6	69.6	75.7

	見込														予測
	2018		2019				2020				2021				2022
	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月
生産能力拡大	32.7	36.4	40.7	32.6	49.1	31.7	33.9	28.1	35.3	32.8	21.6	31.5	22.5	27.1	32.4
経営の多角化	7.7	18.2	5.6	6.5	3.6	9.5	5.1	3.5	2.0	9.0	13.7	5.6	19.7	12.9	16.2
省力・合理化	17.3	18.2	25.9	23.9	18.2	23.8	18.6	15.8	21.6	20.9	17.6	14.8	15.5	17.6	16.2
情報化	1.9	9.1	3.7	4.3	12.7	9.5	3.4	7.0	7.8	4.5	7.8	9.3	4.2	5.9	1.5
環境改善	34.6	16.4	13.0	13.0	12.7	17.5	18.6	28.1	19.6	17.9	25.5	25.9	22.5	20.0	13.2
その他	5.8	1.8	11.1	19.6	3.6	7.9	20.3	17.5	13.7	14.9	13.7	13.0	15.5	16.5	20.6

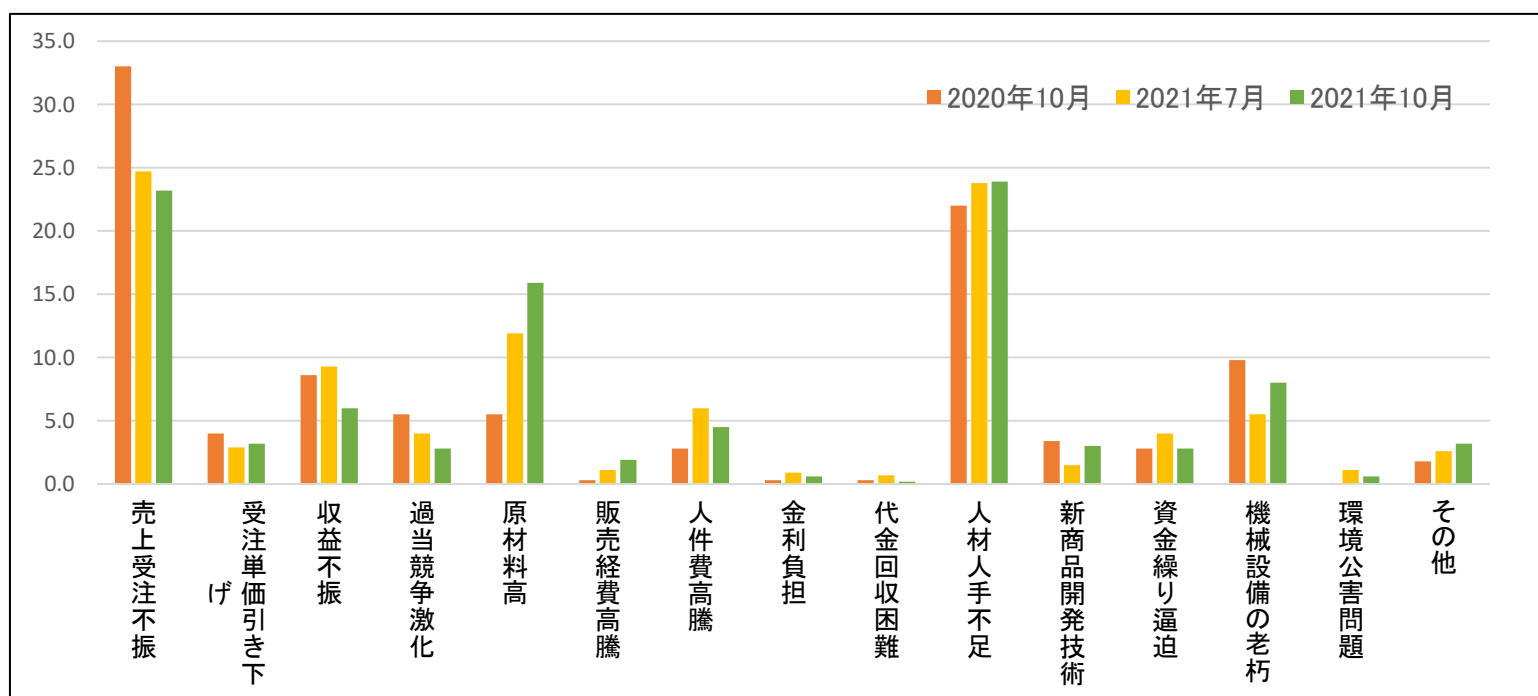


- (1) 今回の調査では、設備投資を実施した企業は25.4%となり、前回比プラス5.5ポイントとなっています。設備投資を実施した目的については、「生産能力拡大」および「環境改善」が22.5%と最も多くなっています。次いで、「経営の多角化」の回答が19.7%と、前回比プラス14.1ポイントと大きく増加しており、コロナ禍の中、事業の新展開や多角化を進める企業が増加していることが考えられます。

VII. 当面の経営上の問題点

(%：複数回答あり)

	2020年10月 (前年同月)	2021年7月 (前回)	2021年10月 (今回)		前回は増減	
			(うち製造業)	(うち非製造業)		
売上受注不振	33.0	24.7	23.2	(22.3)	(23.5)	-1.5
受注単価引き下げ	4.0	2.9	3.2	(3.9)	(3.0)	0.3
収益不振	8.6	9.3	6.0	(3.9)	(6.6)	-3.3
過当競争激化	5.5	4.0	2.8	(1.9)	(3.0)	-1.2
原材料高	5.5	11.9	15.9	(24.3)	(13.5)	4.0
販売経費高騰	0.3	1.1	1.9	(0.0)	(2.5)	0.8
人件費高騰	2.8	6.0	4.5	(3.9)	(4.7)	-1.5
金利負担	0.3	0.9	0.6	(1.0)	(0.6)	-0.3
代金回収困難	0.3	0.7	0.2	(0.0)	(0.3)	-0.5
人材人手不足	22.0	23.8	23.9	(19.4)	(25.1)	0.1
新商品開発技術	3.4	1.5	3.0	(2.9)	(3.0)	1.5
資金繰り逼迫	2.8	4.0	2.8	(1.9)	(3.0)	-1.2
機械設備の老朽	9.8	5.5	8.0	(10.7)	(7.2)	2.5
環境公害問題	0.0	1.1	0.6	(0.0)	(0.8)	-0.5
その他	1.8	2.6	3.2	(3.9)	(3.0)	0.6



- (1) 当面の経営上の問題点として、「人材人手不足」が最も多くなっており、23.9%となっています。ただし、「売上受注不振」については、23.2%と前年比マイナス9.8ポイントと下げ止まって対前年比では大きく改善しました。
- (2) 今回調査では、「原材料高」の割合が増加してきており、対前年比プラス10.4ポイント、対前回比プラス4.0ポイントと原油高や半導体不足等の影響が見られます。コロナ禍における売上減少については、対前年比マイナス9.8ポイントと下げ止まってきています。